

ヒュスラーネスト

リフォーマエレメントの調節法

スイス・ヒュスラーネスト社のリフォーマエレメントは非常に優れたウッズプリングですが、横向き寝が多いヨーロッパ向けのチューニングがなされていて、仰向け寝で眠る場合に、腰の落ち込みが気になるという方がいらっしゃいます。そこで、遅まきながら硬さを調節する方法についてご連絡させていただきます。

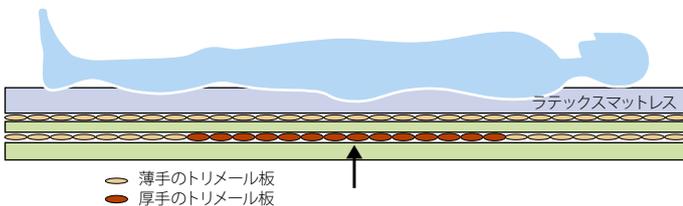


トリメール板

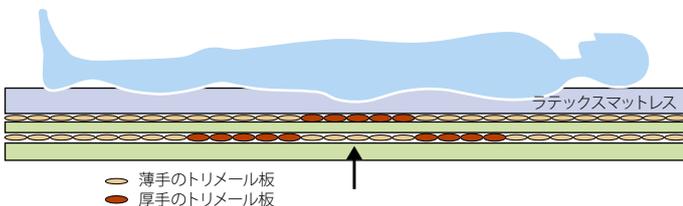


リフォーマエレメントの腰部を硬く調節する方法

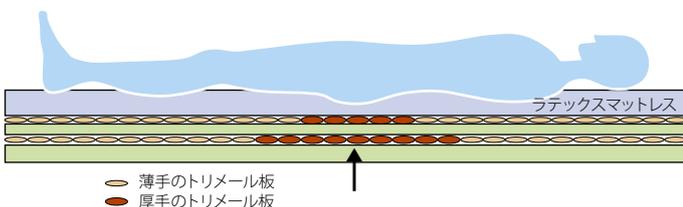
リフォーマエレメントに使われる3層構造のトリメール板には厚手と薄手の2種類あります。通常ご購入直後は、上層のトリメール板は全て薄手で、下層部は中央部に厚手、両端部は薄手になっています。



例えば、もっとも体重がかかる↑の部分の硬くするには、上層の薄手と下層の厚手を取り替えます。(下図参照)



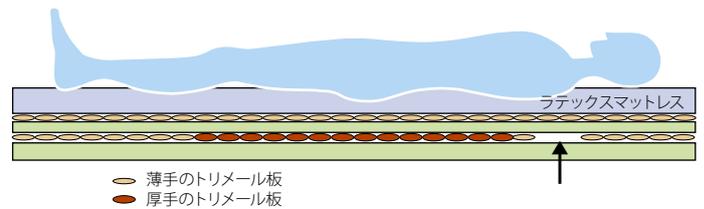
さらに硬くするには、余り影響の無い部分の下部のトリメール板を薄手にして、硬くしたい部分を上下両方とも厚手にします。(下図参照)



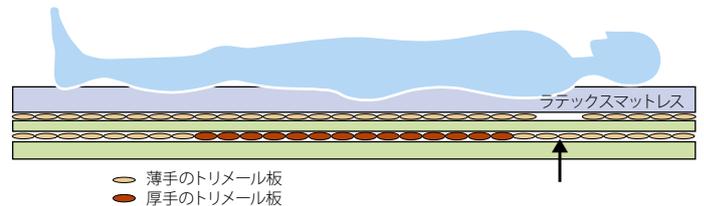
リフォーマエレメントの肩部をさらに柔らかくしたい場合

リフォーマエレメントは横寝をされる場合に最も肩の部分を柔らかく受け止めてくれるウッズプリングですが、体格やお好みによっては、さらにソフトにしたい場合があります。

この場合は、まず↑の肩に当たる部分の下層部分のトリメール板を抜きます。(下図参照)



さらにソフトにする場合は上層部分のトリメール板を抜きます。(両方は抜かないで下さい)



全体的にさらにソフトな寝心地を得たい場合は3cm厚さのオーバーレイラテックスマットレスを、全体にしっかり目にしたいときは、ハニカムシートなどを上に敷いて調節します。